



～ なごみ ～

小川赤十字病広報誌

2



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

新年のごあいさつ小川赤十字病院 院長 竹ノ谷 正徳



新年あけましておめでとうございます。皆さまにとって、この一年が健やかで実り多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

去年は元旦から能登半島地震が起こり多くの方が被災されました。また、その後豪雨災害にも見舞われ被災地の方々には改めて心よりお見舞い申し上げます。小川赤十字病院はいち早く被災地の珠洲市に救護班を派遣し赤十字病院としてのミッションを果たすことができました。比較的 natural 災害の少ないと言われている埼玉県でも油断はできません。当院は一昨年、県から埼玉医大との災害時連携病院として認定されました。近隣の災害時には埼玉医大と連携し地域住民が

安心して暮らせるように職員一同責務を果たしてまいります。

さて、当院は地域で必要とされる病院であり続ける為に2025年は特に以下の重点項目に取り組んでまいります。

1. 外来、検査棟建設計画

昨年から本格的に取り組んでまいりました外来、検査棟建設という二期工事計画をさらに進めてまいります。現在基本計画策定中ですが、資材や人件費の高騰などにより財源確保が大変困難となっています。高齢化と人口減少が現在進行形で進む当地域の将来の医療ニーズを十分に考慮し、本当に必要な機能に絞って建設計画を進めてまいります。この新外来、検査棟は、患者さまの利便性向上と診療機能の強化を目的として設計を進めており、竣工の暁にはこれまで以上に地域医療の拠点としての役割を果たすものと確信しています。

2. 看護師不足への対応

現在、看護師不足という厳しい現状を受け、一部の病棟をやむを得ず閉鎖する措置を講じております。この決断は非常に苦渋のものであり、患者さまや関係者の皆さまには大変なご不便とご迷惑をおかけしていることを心よりお詫び申し上げます。本年は、看護師の採用および定着支援を最優先事項として取り組み、職場環境の改善や働きやすさの向上を図ってまいります。そして一刻も早い閉鎖病床の再開を実現します。

当院が目指すのは、「患者第一」の精神に基づいた、地域に根ざした医療の提供です。厳しい経営状況の中で再建に向けた課題は多岐にわたりますが、職員一人ひとりが使命感を持って取り組むことで、地域の皆さまの信頼に応えてまいります。

皆さまにとっての安心と信頼の拠点となるべく、今後も全力で努めてまいります。本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

新年のごあいさつ	1	骨粗鬆症について	3
赤十字防災セミナーを開催しました	2	連携施設のご紹介	4
認定看護師を紹介します	2		

赤十字防災セミナーを開催しました

令和6年11月16日（土）小川町前高谷の地域の方々を対象に赤十字防災セミナーを開催しました。

自然災害の頻発化、激甚化、広域化が懸念される中、お住まいの地域で災害が発生したときに予想される被害や避難生活などの課題を具体的にイメージしながら、いのちを守る方法を地域の実情に合わせながら学ぶことができるセミナーです。

今回のセミナーでは、令和6年1月に発生した能登半島地震に医療救護班や災害コーディネーターとして活動した吉田裕医師による当時の活動内容を報告したほか、災害エスノグラフィーを用いた災害追体験を行い、防災意識を深めていただきました。

（最下部に能登半島地震の活動報告ページへのリンクを掲載します。）



参加者からは「防災意識が高まるきっかけになりました。先生はじめ小川日赤の職員のみなさまもこのような活動をしていたのは知らなかったです。」と話しました。
地域の中核病院として総合的な医療を提供するだけでなく、今回ご依頼いただいた小川町防災地域支援課や小川町社会福祉協議会と協力していきながら、地域全体での防災意識の向上に努めていきます。

活動報告ページへのリンクはこちら🔗



令和6年度能登半島地震
当院救護班第1班活動報告



当院救護班第2班活動報告



当院救護班第3班活動報告



医療コーディネーター活動報告1

認定看護師を紹介します

手術看護認定看護師 中山 裕紀子



手術看護認定看護師は全国699名、埼玉県内では31名が登録し活動しています。認定看護師分野ではまだまだ人数も少なく、認知度はあまり高くない分野ですが県内の情報交換会や関東甲信越地区の学会の運営など活発に活動しています。
自施設では、「①手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理（体温・体位管理・手術器材・器機の適切な管理等）②周術期（術前・術中・術後）における継続看護の実践」を基本に手術室の運営を行っています。
看護実践ではスタッフと共に、手術を受ける患者援助を一緒に行ったり、術前訪問を通し意思決定支援や相談等も行っています。

院外では看護学生への講義や、研修会等の講師や実技レクチャーなどを行っています。近年インターネット等で簡単にたくさんの情報を得ることはできますが、適切でない情報も多く術前訪問で不安を訴える患者さんは少なくありません。正しい情報を提供し、より良い選択ができるように患者支援を行っていききたいと思います。





骨粗鬆症について連載を開始します



No.1

◎骨粗鬆症って何？

骨粗鬆症とは、骨の量（骨量）が減って骨が弱くなり、**骨折**しやすくなる病気です。日本には約1000万人以上の患者さんがいると言われており、高齢化に伴ってその数は増加傾向にあります。骨粗鬆症だと言われても「特別症状はないし・・・」と思っている方が多いかもしれません。しかし、転倒して骨折してしまうと生活動作（今まで買い物に行っていたのに一人では行けなくなってしまうなど）が困難となってしまうかもしれません。実は『骨卒中』と呼ばれ、「脳卒中」と同じで（大腿骨・腰椎骨折などを引き起こし）日常生活動作が低下してしまう怖い病気なのです。特に女性に多い病気で、50歳以上では、3人に1人、70歳以上では2人に1人が骨粗鬆症と言われています。

◎骨粗鬆症に原因は？（原因として以下の1～3があげられます）

1 カルシウム摂取不足

☞カルシウムの摂取量が少ない
血中のカルシウム濃度を一定に保つため
に、骨からカルシウムが溶け出します



2 女性ホルモンの欠乏

☞女性には特に注意！！
女性ホルモンは骨を溶けにくく
する働きがあります
閉経後では、この作用が低下
骨量が減少します

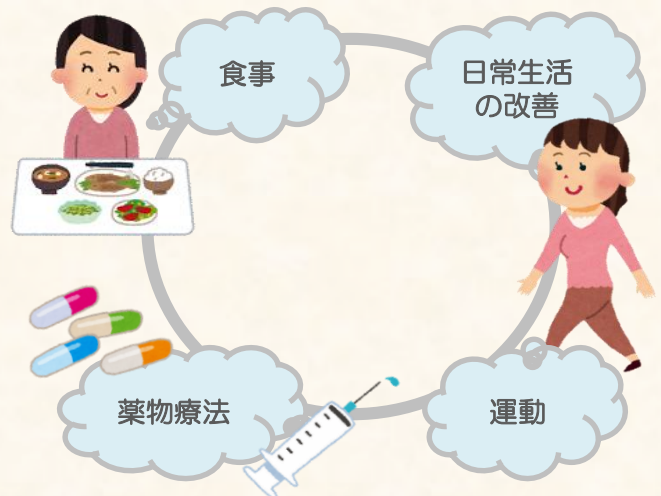
（閉経後骨粗鬆症）

3 加齢による骨量の減少

☞男女ともに加齢とともに
骨量は低下します
☞特にもともと骨量の少ない女性
はさらに減少傾向がみられます

◎骨粗鬆症の治療（良い骨を増やすために）

- ☆薬物療法
 - ☆バランスの良い食事
 - ☆適度な運動
 - ☆日常生活の改善
- ・・・・・・・・以上があげられます



◆人生100年時代いつまでも元気で自立した生き活きとした生活を過ごしたいですね♪

次回号からは、実際の治療（薬物治療・食事・適度な運動・日常生活の改善）について掲載します。
お楽しみに♡

小川赤十字病院 骨粗鬆症リエゾンチーム♡



柳澤医院
院長 柳澤 京介 先生

◆◆ 柳澤医院のご紹介 ◆◆

私たちが心がけているのは、皆様の立場に立って診療させて頂くことです。
お困りの症状を丁寧にお聞きし、検査結果や診療方針などを理解して頂けるまでご説明致します。
生活習慣病の治療だけでなく予防にも力を注ぎ、また、専門性を活かし消化器疾患、肝機能障害の診療やピロリ菌感染の診断・治療なども行っております。
内視鏡検査、超音波検査などによりお困りの症状の原因検索や病気の早期発見にも努めております。
皆様が健やかに過ごせるよう努力して参りますので、安心して気軽に受診して頂ければ幸いです。

〒355-0328
埼玉県比企郡小川町大塚21-7 tel0493-72-0024
診療科目 内科・胃腸科・肝臓内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00～12:00	○	休診	○	休診	○	○	※	休診
午後 15:00～18:00	○	休診	○	休診	○	○	休診	休診



栄田歯科医院
院長 栄田 喜一 先生

◆◆ 栄田歯科医院のご紹介 ◆◆

長年の臨床経験を活かし、保険内でできるだけ患者さんに満足していただける義歯を作るため日々研修を重ねています。また、できるだけ歯を削らない、抜かない治療を第一に心がけています。歯科衛生士によるPMTC(歯科の専門家が専門的な知識や技術を用いて歯面及び歯根面に付着している細菌バイオフィルム状のプラークをコントロールする)を指導しています。歯のことなら何でもお気軽にご相談ください。

〒355-0214
埼玉県比企郡嵐山町志賀205-2 tel0493-62-7411
診療科目 一般歯科・小児歯科・歯科口腔外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前 9:00～12:00	○	○	○	休診	○	○	休診
午後 14:30～19:00	○	○	※1	休診	○	※2	休診

※1 水曜日の午後の診療は21:00（夜19:00～21:00は予約診療）までいたします。
※2土曜日の午後の診療は18:00までです。

和～なごみ～小川赤十字病院広報誌 Vol. 2

- 〒355-0397 埼玉県比企郡小川町小川1525番地
◆TEL 0493-72-2333 (代表)
◆FAX 0493-72-2755
◆小川赤十字病院ホームページ (QRコード)

